

停電時の操作



警告

緊急にシャッターを動作させる必要があるとき以外は、停電が復旧するのを待ってから通常操作を行ってください。やむを得ず操作する場合は下記の事項を確認してください。

- 操作をする前にシャッターの電源（コンセントまたはブレーカー）を必ず切ってください。
- 高所作業を伴う場合は、ヘルメット・安全帯の着用、必要な足場の確保など、墜落・転落事故を予防してください。
- シャッターの下に、人や物がいない事を確認してから操作してください。
- 操作が終了するまで、他の人がセレカードや押しボタンスイッチを操作しないように周知してください。
- 点検口を開けるときは、ショートリンクチェーンなどが落下してくる場合がありますので、ご注意ください。（ショートリンク仕様のみ）
- 25～26 ページの手順に従って操作してください。手順どおりに操作しなかった場合、思わぬ事故になる場合があります。
- お客様が停電時の操作をする際、少しでも不明な点、不安な点がある場合は 45 ページ記載の文化シャッターサービス株式会社まで作業をご依頼ください。
- ブレーキ開放レバーにてシャッターを降下させる場合、電動による通常の閉鎖よりも速いスピードでシャッターが降下します。操作中はシャッターから目を離さず、いつでもブレーキ開放レバーから手を離してシャッターを停止できるようにしてください。
- ショートリンクチェーンを使用した後は、必ず収納袋に収納して、点検口を閉めてください。
収納せずに放置すると、お子様がショートリンクチェーンを触り、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ショートリンクチェーンが体に巻きついたり、引っかかったりするようなことをしないでください。窒息など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注 記

- 開けるときは、所定の高さでとめ、巻き上げすぎないようにしてください。
- ショートリンクチェーン操作でシャッターを開ける場合は、座板がシャッターケース付近まで達したら操作を停止してください。それ以上無理に開けると、シャッターケースに座板があたり、破損するおそれがあります。

点検口を開ける

点検口を開けます。点検口はシャッターが収納されるシャッターケースの下面、または天井面の左右にあります。通常、シャッターケース側から見て右側の点検口を開けてください。

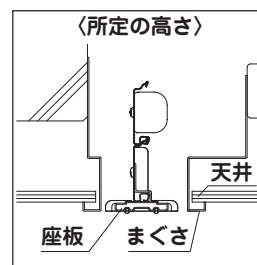
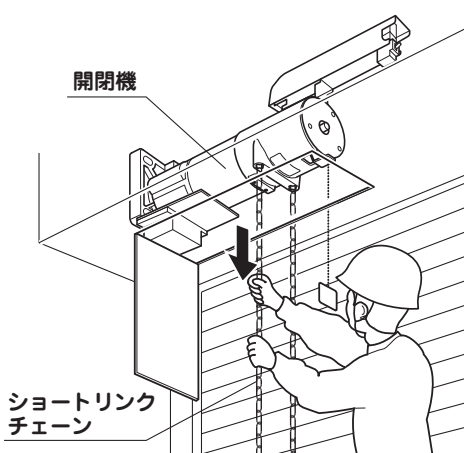
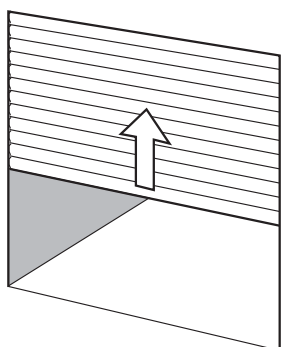
閉まっているシャッターを開ける

1

シャッターが停止していること、電源が切れていること、シャッターのそばに人がいないこと、物がなことを確認し、点検口を開けます。

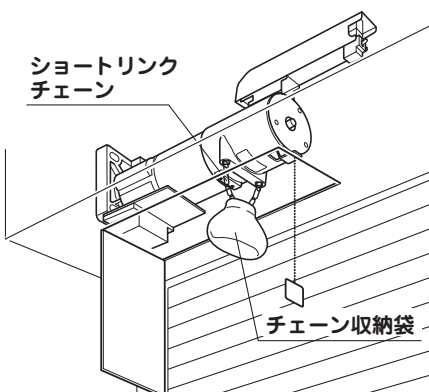
2

チェーン収納袋からショートリンクチェーンを取り出し、カーテンから遠い方のショートリンクチェーンを引くと、シャッターが開きます。座板が所定の高さ（まぐさ下端）に達したら、巻き上げるのを止めてください。



3

巻き上げが完了したら、ショートリンクチェーンをチェーン収納袋に収納し、点検口を閉めてください。

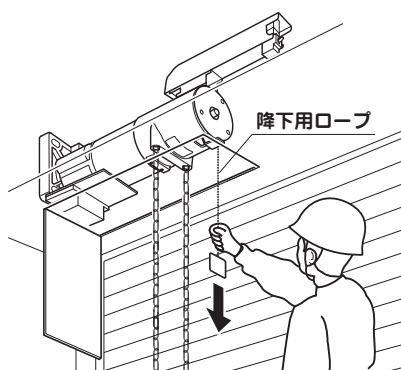
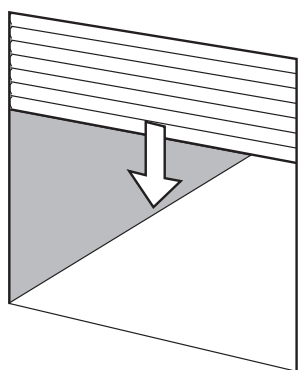


開いているシャッターを閉める

1 シャッターが停止していること、シャッターのそばに人がいないこと、物がな
いことを確認し、点検口を開けます。(点検口はシャッターケースの下面また
は天井面にあります)

2 点検口を開けて、開閉機を確認します。

3 降下用ロープを下方に引くと、シャッターが閉まります。降下用ロープを放す
と、シャッターは止まります。操作が完了したら、チェーンが収納袋に納まっ
ていることを確認し、点検口を閉めてください。



警告

降下用ロープにてシャッターを降下させる場合、電動による通常の閉鎖よりも速いスピードでシャッターが降下します。操作中はシャッターから目を離さず、いつでも降下用ロープから手を離してシャッターを停止できるようにしてください。

停電復旧後の操作

- 停電から復旧した時のシャッターの状態で復帰操作方法が変わります。下記をご確認ください。

シャッターが全開で停電から復旧した場合

- 電源復旧後、特別な操作は必要ありません。そのまま通常どおり操作が可能です。

シャッターが全開以外から復旧した場合

- 復帰操作が必要となりますので次の操作をおこなってください。
- 復帰操作完了するまで、3秒おきにブザーが鳴ります。

1 セレカードなどの操作スイッチにて、シャッターを全開にしてください。

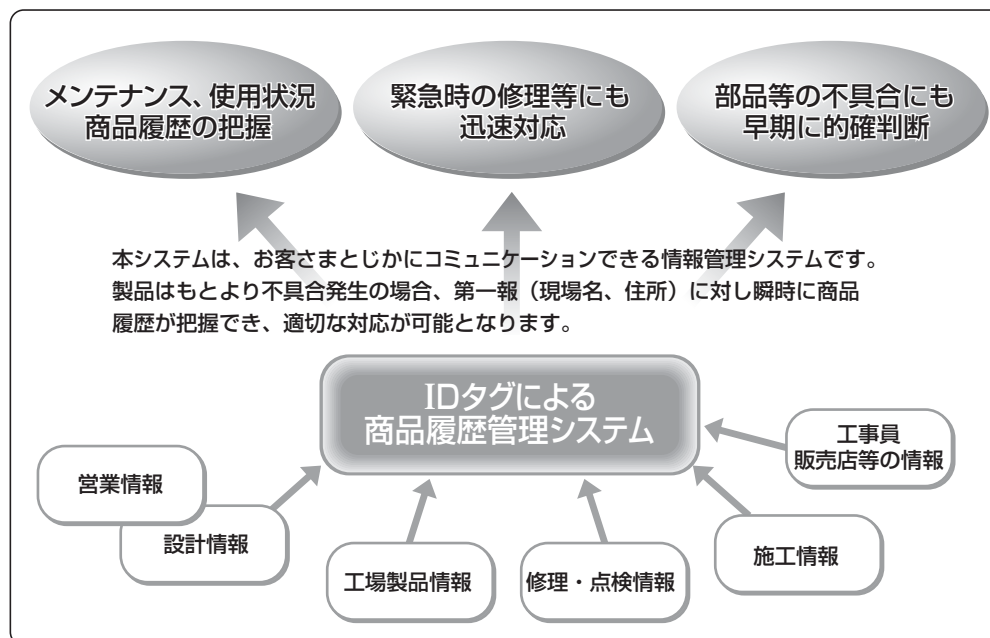
2 全開するとブザーが止まります。その後は通常どおり操作が可能です。

8. 商品履歴管理システムについて

「商品管理システム」とは、お届けした製品一台に一つずつ割り当てた管理ナンバーにより、点検結果や修理結果などを一元的に管理するシステムです。

管理ナンバーは<ID タグ>というラベルの表面に印字されていますので、定期点検や修理をご依頼の際はこの番号をお知らせください。

<ID タグ>の貼付位置は、2 ページの「1. ご使用上の注意」をご覧ください。



9. 修理のご案内

いつでも安心

シャッター、ドアに関する修理・取替、点検のご相談は、お気軽に下記の文化シャッターサービス株式会社フリーダイヤルまでお電話ください。

アットタイムサービスシステム

ATSS



0120-365-113

- ・24時間365日受付
※一部の地域（離島など）については、対応できない場合があります。
- ・携帯電話からもつながります
- ・最寄りのサービスステーションにつながります

